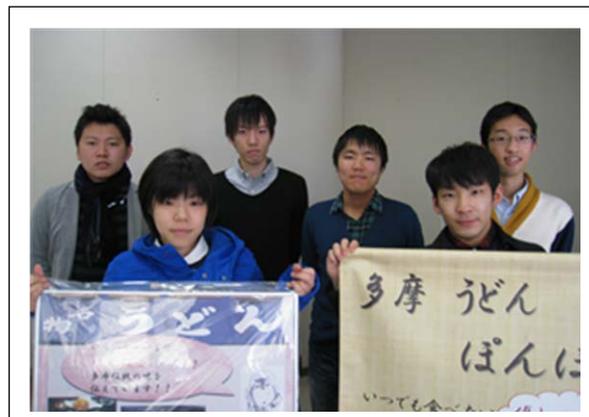


# 団体名： ぽんぽこ多摩の杜&ユニバーサルタクシー広報隊 (多摩大学)

## 団体プロフィール

設立時期	2013年6月
メンバー数	24
メンバーの主な所属学部	経営情報学部
学年別の人数	4年生7人 3年生17人
団体の連絡先	多摩大学 多摩キャンパス 042-337-7147 sonoko-n@tama.ac.jp



制作した応援ポスターとともに

## 団体の活動内容と実績

メンバーの所属ゼミナールの研究課題が、マーケティングコミュニケーションと企業・組織PRだったため、そこで学んだことを生かして地域のボランティア活動に貢献したいと思い団体を発足させました。具体的には、地元の社会福祉法人が運営しているクッキー工房やうどん屋さんのポスターやチラシ、包装紙やラベルを制作していろいろな場でPRする活動、ユニバーサルタクシーのラジオCMを制作して、外出が困難な方たちにユニバーサルタクシーをもっと気軽に利用してもらえるようにする活動など、ボランティア活動と組織PRを融合させた活動を行っています。活動とともに、ボランティア活動を社会に向けて発信・PRするより効果的な方法についても研究を続けており、それについての研究発表なども積極的に行っています。広告・PRというと商品やサービスを売り込むためのものと考えられがちですが、それらは営利活動のためだけにあるものではありません。

ゼミナールで学んだことを単なる教室の中での勉強に終わらせずに、実際に目に見える形の社会貢献にしていく、というのが私たちの活動のモットーであり、それこそがまた大学で学ぶ意義なのだと考えています。

## 助成対象事業【事業名 ぽんぽこ多摩の杜&ユニバーサルタクシー広報

### ●事業の目的

今回の事業の目的は大きく分けて二つあります。一つは地元の社会福祉法人が運営するうどん屋さん「ぽんぽこ」のポスター・チラシ制作をして、より多くのお客様を呼ぶことにより、そこで働く方たちの自立を支援すること、二つ目は、体が不自由な方でも利用できるユニバーサルタクシーの利用方法と機能を広くラジオCMでPRし、外出が困難な方が、家族と一緒に出かけたり、社会参加する機会を増やそうとするものです。単なる資金的、物質的な支援ではなく、このような活動が、地元の社会・経済的な活動やボランティア活動の活性化に有機的につながっていくのではないかと考えました。また、ボランティア活動とメディアの利用というある意味大きなテーマに対して一つの具体的な答えを出そうというメンバーの意気込みもありました。

## ●事業の実施報告

まず、地元の社会福祉法人が運営するうどん屋さん「ぽんぽこ」のPRのために2種類のタペストリーと3種類のチラシを制作、印刷しました。前者はイベント会場やぽんぽこの店頭飾りに、後者は同じイベント会場、大学構内など許可を受けたところで掲示、配布して、お店の知名度を高め、ぽんぽこのうどんの魅力とおいしさを積極的にアピールしました。また、大学の学園祭でもこの活動に関する研究発表と展示を行いました。次に、体が不自由な方でも利用できるユニバーサルタクシーの利用方法と機能を効果的に訴えるラジオCMを制作、自分たちで録音・編集して、コミュニティラジオ局FM西東京番組内にて放送しました。外出が困難な方たちがどんな時にユニバーサルタクシーを利用したら便利かを一つ一つのセリフで表現し、いろいろな立場にいる人からの目線で語る、というコンセプトのCMです。メンバーの一人一人が声優を務め、自分たちで録音編集、また多摩大学卒業生の作曲したオリジナル曲をBGMとして使用しました。



福祉イベント会場でのPR風景



ラジオCMの録音編集作業風景

## ●事業の実施を通じて得た成果や地域の課題

大学の授業で学んだこと…営利活動に限らず、製品、サービス、企業や組織の活動や理念を社会に向けて発信・PRすること…を、ボランティア活動という形を通して、社会で実際に生かすことができ、自分たちの研究が目に見える形である現実のものになった、ということが一番の大きな成果だと思います。ポスターやラジオCMを作る過程で、大学の外で活躍している多くの社会人の方と触れ合っていく中、「社会実践の場」を直接に体験でき、地域の問題をより身近に感じ、これから自分たちが何を目標としてどう行動していくべきか、がよりはっきりとしてきました。

それぞれの地域ボランティア団体は個々に特色を生かして日々活動をしています。各団体間の連絡を密接にする場を設ける、その活動をより効果的に情報発信したり、団体をまとめ上げてより大きな活動のうねりにして行く、というようなネットワークづくり、より大きな組織作りをしていく必要があると思います。その大きな目標に向かって身近な場所でのきっかけ作りをきめ細かく行っていくことも大切なことだと感じました。

## ●今後の抱負

地域のボランティア活動の情報発信には、これから解決していくべき多くの課題、そして同時に大きな可能性があることを痛感しました。今後は今回の助成金活動で得た貴重な経験を生かし、つながりを持った他の団体とも協力して、より効果的で魅力的な情報発信の手段と方法を追求していきたいと思っています。その一つの手段としてSNSを中心とするインターネットが考えられると思うので、Facebook、Twitter、のページ制作に着手し、将来はホームページの制作なども行ってみたいと考えています。